

令和6年度 第4回美里地域会議 会議録

日 時：令和6年7月11日（木）18時55分～20時20分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、小林 忠雄、
清水 幸男、鈴木 智映子、中島 康隆、野村 耕一、
濱野 敏子、松村 洋、丸石 敏憲、望月 英光、
森口 美代子、山本 由和、吉本 勝
【欠席】青木 徹、豊田 博久
＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、川瀬主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 令和6年度地域課題解決事業について

- ・令和6年6月23日（日）開催の神池公園ワークショップの様子について、事務局と当日見学した委員が報告した。
- ・7月21日（日）及び8月4日（日）に開催するワークショップの見学者を募った。

【7月21日（日）神池公園ワークショップ見学予定者】

松村会長、野村副会長、清水委員、北村委員、鈴木委員、濱野委員、望月委員
※濱野委員は、ワークショップ参加者として出席する。

【7月21日（日）美里二区ふれあい広場ワークショップ見学予定者】

松村会長、岡本委員、中島委員

【8月4日（日）東山第5ちびっこ広場ワークショップ見学予定者】

松村会長、野村副会長、岡本委員、清水委員、鈴木委員、吉本委員、山本委員
※山本委員、吉本委員は、ワークショップ参加者として出席する。

※前日の天候次第で延期となる可能性あり。

4 提言に向けた動きについて

（1）配布資料について（説明）

提言に向け、今後の進め方の案を事務局が説明した。

（2）提言したい美里地区の課題について（協議）

先月の会議の決定のとおり、各委員が提言したい課題をアンケートの大項目から2つ選び、理由とともに発表した。次回までに、今回の意見を事務局がまとめる。

【委員意見】

豊田委員（事務局代読）

①交通安全対策

マナー違反が気になるため

②環境美化

ゴミ捨てのマナーが悪いため

青木委員（事務局代読）

①交通安全対策

全ての地域で、ほとんどの人にかかわる身近なテーマであるため。

「子供、学生、大人、高齢者」、「歩行者、バイク、自転車、車」、「自治区、学校、企業」など、それぞれの立場、視点で、色々な意識、行動が必要となるため。

②地域活動の担い手不足

担い手が少ないため、特定の人々の協力で成り立っている。若い人たちだけでなく、多くの年代の方が、積極的に、気軽に参加していただくことができる魅力的な活動や人材育成の方策を検討するため。

大坪委員

①高齢福祉

美里地区だけの問題ではないが、免許返納後の移動手段の確保が必要だと考えるため。

②高齢福祉

個人情報保護のため、自治区未加入者の情報を得る方法がない。火事、地震など有事の際の対応に不安があるため。

岡本委員

①高齢福祉

高齢者に、外に出て、健康づくりをしてもらいたい。現在の公園の事業と絡めて進めたい。最近、モルックを使ったイベントが子どもにも好評だった。公園の事業を2年で終わらせず、その先につなげていきたい。

②防災対策

これまでも美里地区では取り組んできているが、神池公園に防災専門の設備を置くなど、専門家の意見も聞きながらとことん防災の取組を進めたい。

北村委員

①防災対策

②地域活動の担い手不足

アンケートの各課題を整理し、「対象人数」、「被害の重さ」、「現状」、「緊急度」、「対費用効果」において1、3、5点の点数を付けて評価し、優先すべき課題を決めた。各課題の整理結果は以下のとおり

- ・交通安全：児童通学路、高齢者、自転車
- ・防犯対策：児童見守り、空き家、車盗、不審者、詐欺
- ・防災対策：東海大地震、避難場所、高齢者
- ・高齢福祉：移動手段、一人暮らし、集いの場、介護、日常サポート
- ・子育て支援：遊び場、子ども会、参加イベント
- ・健康増進：高齢者誘致、イベント、ラジオ体操
- ・環境美化：不法投棄、犬のふん、街並み
- ・地域活動の担い手不足：団体代表者選出、育成、活動マニュアル化
- ・道路交通対策：通り抜け、スピード、公共交通機関、通学路

小林健一委員

①交通安全対策

横断歩道がない、歩道が狭い又は通りにくい、ベビーカーが通れないところがあるなど、道路環境の悪いところが多くある。歩道で転んで救急搬送された事例もある。一度、みんなで歩いて見て回ると良いのではないか。子育て支援や高齢者対策にもつながると考える。

②環境美化

美里地区として、自慢できる場所があると良い。子どもから高齢者まで、安全に集まれるところを整備したい。

小林忠雄委員

①高齢福祉

スーパーの買い物客を見ていると、高齢の方が自分で運転していたり、タクシーで来たりしていて、移動手段が大変だと感じることが多い。日進市では、くるりんバスを安価で運用しており、似たような事業ができると良い。

②地域活動担い手不足

自治区役員を決めるのに苦労した経験がある。一人暮らし高齢者の方は組長などを担うことが難しいため、高齢でない住民に自治区内の役がすぐに回ってきてしまい、負担となっている。

清水委員

①防災対策

防災訓練をしているが、高齢者や身体障がいのある方の参加が少ない。発災時に近所で助け合い、対応できる体制を作ることが必要だと考える。

②高齢福祉

免許返納後は、生活レベルを落とさざるを得ない。生活に必要な場所を回るバスを取り入れるなど、高齢者が生活のレベルを落とさなくてよい仕組み作りが必要だと考える。

鈴木委員

①防災対策

自宅付近に山がある住民や矢作川流域の住民は、大雨が降ると被災の不安がある。いざというときに、どこに避難したらよいのか知らない人も多いのではないか。災害が昼に起こるとは限らないので、小原地区では、夜に避難訓練をしている。美里地区全体で、同じ日に、同じ内容の避難訓練を行いたい。発災時の対応について地区全体で同じ知識を持つことで、いざという時に自治区を超えて助け合える地域になると期待できる。

②高齢福祉

美里地区だけが極端に高齢化しているわけではないため、美里地区だけ手厚い支援を受けることは難しいと感じている。できるだけ、自分たちが、自分たちで元気でいられるような取り組みができると良い。子ども会や高齢者クラブへの参加が減っていると聞く。高齢者が地域で活躍できる場を作れると良い。

中島委員

①防犯対策

車やバイク、自転車の窃盗が美里地区内で起きている。自宅の2階の防犯対策が甘いことが多い。防犯対策は、みんなで力を合わせて取り組む必要があり、この地区に悪い人を入れないという意思表示が必要。過去に地域会議で「不審者を見たら110番」の看板を作ったが、慣れてきてしまっている。

②交通安全

豊田信用金庫神池支店の西側の南北に走る道に横断歩道が少ない。子どもたちが集団で道路を横断している。

濱野委員

①高齢福祉

周囲に免許返納をした人が増えた。自宅に籠りがちにならないよう、自治区内で「趣味の会」を立ち上げ、好きな時に、好きなことをするために自治区集会所に集まっている。当初、高齢者クラブで取り組む予定だったが、範囲を広げて自治区の取組としたところ、現在は年齢性別問わず、集まっている。この取組を美里地区全域に広げたい。

②健康増進

神池公園が、ちょっとした運動ができる拠点として活用できると良い。必要な設備を設置してほしい。

丸石委員

①高齢福祉

美里中学校北側の歩道が傾いている。手押し車を押している人が倒れてしまうこともある。美里地区区長会から市へ何度も要望しているが、改善が難しい状況。高齢者に優しい歩道を付けてもらいたい。

②高齢福祉

運転免許返納後、バスがないことが課題。他市では、バスの運営があるようだが、豊田市は取組が弱いのでは。高齢者が外に出られる仕組みがほしい。

望月委員

①地域活動の担い手不足

数年先を見据えて、取り上げたい課題を考えた。近年、子ども会、PTA、高齢者クラブ、消防団の活動が縮小している。今後、地域のコミュニティが維持できるのか不安。消防団では、消防大会の練習が負担になっていると聞く。昔から続いている活動の内、辞められる部分はやめて、本来の活動に注力できるようにしたらどうか。自治区活動においても、親睦会にお金をかけるのをやめて、ボランティア等にお金をかけるようにしたところもあると聞く。

自治区長の役割を果たすために、自分の時間を犠牲にしなければならない現状がある。そうしなくても、区長がやれるように、仕組みの見直しが必要である。

②高齢福祉

免許変更後の支援だけでなく、高齢者が免許返納しなくてもよくなるような支援ができないか。

森口委員

①高齢福祉

免許返納後、通院ができる支援がほしい。遠くに行く必要があるときもある。交流館を起点とした巡回バスを走らせられないか。

②環境美化

加茂川の河津桜を見に来る人が増えている。美里地区の特色ある場所として活用できると良い。

美里地区のまちづくりに関するアンケートには、すぐに解決できる記載もあった。書いた人に解決策を伝えたい。例えば、アンケートに「家から出る機会が減った」という記載があった。「ほほえみ」という高齢者のふれあいの場に毎月参加しており、そういった場があることをアンケート回答者に伝えたい。大きな課題だけでなく、小さな課題にも対応したい。

山本委員

①高齢福祉

公共交通機関が弱い。電車を使うと豊田市から名古屋まで千円で行けるが、豊田市駅から東山までタクシーで2千円かかる。免許返納後の交通手段を真剣に考える必要がある。歩道の段差などの道路環境や防災対策も気になっており、全て高齢福祉に繋がっていると感じる。一人暮らし高齢者が増えているが、地震が来たら誰がフォローするのか。自治区役員で助けられる人数ではない。何かキャッチフレーズを付けて、交通や防災も含め、取り上げたらどうか。

②地域活動の担い手不足

現役世代の参加が少ない。役員の担い手がおらず、数年後、子ども会が消滅する可能性がある。

吉本委員

①高齢福祉と道路交通対策

コミュニティバスを運営する。地域会議 OB で地域バスを作る。地域住民で一部負担し、あとは利用者が負担する。美里地区内だけであれば、2時間あれば回れる。基本は美里地区内を巡回し、時々豊田市駅に向かうバスを運営したい。

②防災対策と地域活動の担い手不足

美里地区は、コミュニティ会議の健康づくり部会、青少年育成部会、福祉部会がしっかりしている。それに加えて、防災について中学生～大学生の若い世代を入れて考える、防災部会を立ち上げたい。ボランティアに興味のある中学生が増えている。ボランティアをした中学生が、二十歳のつどいで実行委員をしている。そこで途絶えてしまうのはもったいないので、そのまま地域活動を継続してもらいたい。地域会議 OB も入っていけば、実現できると思う。

野村副会長

①高齢福祉

一人暮らし高齢者の交流の場が必要。何か楽しみをつくり、一日に一人でも、地域の人と話せる場を作りたい。高齢者と青年や子供が交流できる場があると良い。高齢者に関する若者向けの講座を作るとよいのでは。

②地域活動の担い手不足

中学生、高校生も地域活動に積極的に参加したくなる活動内容にしてほしい。

松村会長

①高齢福祉

交通、交流の弊害がある。どこまで事業化できるか難しいが、課題として挙げていきたい。

②防犯対策

詐欺や住居侵入が増えている。地域住民の防犯意識を向上させたい。

5 事務連絡

(1) 令和6年度 第5回美里地域会議

- ・日 時 令和6年8月8日(木) 午後7時～
- ・場 所 美里交流館 多目的ホール

(2) 公園ワークショップ(見学希望者のみ)

ア 神池公園ワークショップ

- ・日 時 令和6年7月21日(日) 午前9時15分～
- ・場 所 美里交流館 2階 大会議室

イ 美里二区ふれあい広場ワークショップ

- ・日 時 令和6年7月21日(日) 午後2時～
- ・場 所 美里二区区民館

ウ 東山第5ちびっこ広場ワークショップ

- ・日 時 令和6年8月4日(日) 午後3時～
- ・場 所 東山町区民会館 2階